

かくだ

Kakuda city

市議会だより

第183号

平成27年8月1日



ライブ配信やってます

※詳細は8ページ



▲かくだ田園ホールオープニングセレモニーのようす（平成27年7月5日）

■おもな内容■

第376回定例会	2～6
◇本会議の概要	2
◇陳情の処理	2
◇議員表彰	2
◇審議結果一覧	2
◇一般質問	3～6

◆第9回議会報告会に係る市政に対する要望等の提出	6
◆産業建設常任委員会行政視察	7
◆8月定例会日程（予定）	8
◆議会日誌	8
◆編集後記	8



「定住促進、角田・いらっしゃいプラン」について

湯村 勇 議員

議員▼平成17年当初は、マイホーム取得奨励金・新婚等夫婦・新規転入者に対する補助金制度として好評でしたが、現在補助金の最大額が150万円まで引き上げられ、高く評価された反面、対象となるための条件が厳しくなり、使い勝手が悪くなりました。その声が聞こえてきます。

を助成しています。議員▼平成25年4月1日から平成28年3月31日まで建物取得する方、かつ転入前過去2年以内で角田市内に住んでいるものはなぜか伺います。市長▼制度の趣旨である定住の意味は「永住」を前提にしており、建物の取得を概ね確認できると考え、自己の居住の用に供する建物を取得することを条件としています。

うな制度設計にしております。角田市における各種事務に係る委託料について議員▼予算書を開くと目立つのが委託料です。件数も多く、金額も高額で、年々増加傾向にあるようです。軽微な現地測量等は職員が担当し、経費節減を図ってはいるか、です。市長▼職員の減員と増加委託料との差引勘定は、平成21年度から平成25年度までの計算で人員費減額の約7割が委託料として増加しています。

産業建設常任委員会行政視察

●視察期間

平成27年5月12日(火)～14日(木)

●視察地・目的

①石川県野々市市 「公営住宅建設(つばきの郷住宅)について」

②富山県富山市 「コンパクトシティ戦略と6次産業化(農工商連携)について」

③富山県砺波市観光協会 JAとなみ野 「道の駅砺波の概要、経営状況及び課題等について」

●視察所感

①石川県野々市市 野々市市は、石川県の県庁所在地である金沢市のベッドタウンとして人口が年々増加しています。市営住宅の建設については、旧市営住宅の栗田住宅の老朽化に伴い、北西部土地区画整理事業区域内へ建て替えることとなりました。

新市営住宅であるつばきの郷住宅は、野々市駅から徒歩10分の場所に位置し、コミュニティバスの停留所があるなど、交通弱者にとっても便利な場所であり、また、建設にあたっては民間の優れた企画力・技術力を活用するため「公募型プロポーザル・デザインビルド方式」により業者選定を行いました。

また、児童館併設放課後児童クラブと保育所が並び、郷住宅にコの字型に隣接しており、雨・雪に濡れずに行



▲富山市役所にて

き来ができるよう屋根付きのコロナードで結ばれ、その中央部はポケットパークがあり、様々なイベントが行える賑わい広場となりました。地方創生が叫ばれる中、角田市においても人口減少・少子高齢化が顕著になってきており、地方として、これまでに以上を知恵を絞ることが求められています。市外への転出を減少させ、角田市に転入↓定住↓出産↓子育て等と繋げていくためには、住宅の建設だけに着目して市営住宅を建設するのではなく、子育て世代、老・老世帯等、あらゆる世代に配慮し、住み良い環境もあわせもった総合的・横断的な計画を立案していかなければならないと感じました。

②富山県富山市

人口減少と超高齢化が進む中で、富

角田市議会から「第9回議会報告会」に係る市政に対する要望等を市長へ提出しました。

角田市議会は、議会基本条例を制定し、市民と共に歩む議会、議員同士が討議する議会、執行機関と切磋琢磨する議会を目指し、日々「求められる議会像」を検討しています。その一環として、議会が地域に出向き、議会での審議状況や行政情報についての説明責任を果たしながら、議会活動や市政に対する意見、提言などを直接市民から聴取することにより、議会の監視機能及び政策提言機能に資するため、議会報告会を開催しています。

「第9回議会報告会」において、市民の皆様からいただいた「市政に対する意見、要望等」を各常任委員会においてさらに深く掘り下げて調査・研究を行い、そのうち以下の重点要望項目について、平成27年7月9日(木)に市長へ提出しました。

- 角田市議会からの重点要望項目
◎総務財政常任委員会所管
・アパート等への防災情報の周知方法について
◎教育厚生常任委員会所管
・ごみの分別と不法投棄について
・(仮称)仙南クリーンセンターについて
◎産業建設常任委員会所管
・道の駅に関する事について



▲市長応接室にて

山市は、将来世代に責任が持てる「持続可能な都市経営・まちづくり」が必要であることから、コンパクトシティ戦略に着手しました。富山市では、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを目標に掲げ、LRTネットワークの形成、富山ライトレールの整備、市内電車環状線化事業、路面電車の南北接続、自転車市民共同利用システム、おでかけ定期券事業などの事業を展開してまいりました。また、中心市街地活性化計画、グラウンドプラザ整備計画、市街地再開発事業等に取り組み、転入人口の増加、空き店舗率の減少、中心市街地の歩行者数の増加、地価の維持等の成果を出しています。

産・学・官・民による地域特性を充分に活かした産業振興の一つとして、牛岳温泉熱を活用した農業の6次産業化を図るため、「エゴマ」の生産↓加工↓流通・販売までの取り組みを始めています。温泉熱を活用した栽培工場、露地栽培への展開を図り、耕作放棄地の再生、雇用の確保、そして「エゴマ」の優れた抗酸化作用の特性を活かし「健康長寿都市」を目指してまいりました。その土地に合った考え方で総合的に6次産業化を確立していかなければならないと改めて痛感させられました。③富山県砺波市観光協会 JAとなみ野 道の駅「砺波」は小規模の道の駅です。運営は砺波観光協会とJAとなみ野が行っていました。施設は木造平屋建て、総事業費は6千万円、そのうち補助金は2千万円で、平成23年4月に営業を開始しています。農産物の出荷登録会員数は220名、年会費千円、生産者販売高は、初年度(平成23年度)が約5千3百万円でありましたが、平成26年度には9千7百万円と、前年対比で毎年約15%ずつ増加しています。農産物以外の売り上げも含めると、平成26年度の総売上額は2億円超、来客数も14万人を超えていました。商品の販売情報の管理についてはPOSシステムを導入し、その日の売り上げの経過・結果を1日3回、会員の携帯・パソコンへメールで知らせており、そのメールを見た会員の判断で農産物を再入荷するなど、会員の売り上げに対する意識が高く、また、会員に対する勉強会も定期的に行われていました。角田市においても「道の駅」の建設計画がありますが、全国各地の生産地と連携した多種類の品揃え、定期的なイベントの開催、商品のマンネリ化の防止のための会員の勉強会、品薄野菜等については近隣市町の協力等を求め、あらゆる手段を使って集客に努めなければなりません。角田版「道の駅」の計画によると年間75万人、年間売上3億円と試算していますが、計画どおりに達成できるのか疑問であります。他の道の駅の成功例だけではなく、失敗例も参考にし、綿密な計画を立てて遂行していかなければならず、失敗は許されません。角田市の特色を活かしたオンリーワンの道の駅を目指し、角田市議会としても提言していくべきと感じました。

市議会8月定例会

日程(予定)のお知らせ

- 7月28日(火) 招集告示、会派代表者会議
 31日(金) 議員協議会、議会運営委員会
8月4日(火) 本会議(提案理由の説明)
 会派代表者会議、正副委員長会議
 6日(木) 議会運営委員会
 11日(火) 常任委員会(請願審査)
12日(水) 本会議(質疑・自由討議)
決算審査特別委員会
13日(木) 決算審査特別委員会
17日(月) 決算審査特別委員会
 会派代表者会議
 18日(火) 決算審査特別委員会分科会
 (総務財政・産業建設)
 19日(水) 決算審査特別委員会分科会
 (教育厚生)
 20日(木) 常任委員会(議案審査)
 21日(金) 常任委員会(議案審査)
 24日(月) **決算審査特別委員会**
 議会運営委員会
25日(火) 本会議(討論・表決・一般質問)
26日(水) 本会議(一般質問)
 議会運営委員会
27日(木) 本会議

※請願及び陳情等の提出期限は、7月28日(火)までとなります。
 ※本会議の開会時刻は、午前10時です。
 ※**太文字**はライブ配信を行います。

議会を傍聴しませんか。

定例会は、年4回開催されます。皆さんの身近な問題が審議されており、どのような方針で市政が進められていくのか知ることができます。お気軽に足を運んでみませんか。

また、インターネットを利用したパソコン、各地区自治センター



のテレビ及び市役所東庁舎1階の市民ホールのテレビでも議会中継をご覧になれます。

※日程は変更される場合がありますので、傍聴を希望される場合は、議会議務局(☎63-2124)にお問い合わせください。

第376回(平成27年6月)定例会

傍聴者数 8人
 インターネットライブ中継視聴者数 54人

議 会 日 誌

4月	5月	6月	7月
20日 会派代表者会議 21日 議会運営委員会 30日 議員協議会 議会運営委員会 正副委員長会議	1日 市議会だより182号	1日 第376回定例会招集告示 4日 会派代表者会議 議員協議会 議会運営委員会 第376回定例会本会議(第1日)	10日 議会運営委員会 12日 会派代表者会議 17日 全国市議会議長会第91回定期総会(東京都) 18日 本会議(第2日) 23日 会派代表者会議 議会運営委員会 産業建設常任委員会 総務財政常任委員会 本会議(第3日) 議員協議会 教育厚生常任委員会 本会議(第4日)
12日 発行 産業建設常任委員会 政視察(14日)	8日 議(第1日) 会派代表者会議	24日 本会議(第3日) 議員協議会	26日 議会運営委員会 本会議(第5日) 議員協議会 議会運営委員会 議会だより編集会議
1日 第376回定例会招集告示	25日 本会議(第4日)	6日 正副委員長会議 9日 会派代表者会議 15日 全国市議会議長会第141回地方行政委員会(東京都)	26日 議会運営委員会 本会議(第5日) 議員協議会 議会運営委員会 議会だより編集会議

編集後記



角田市議会第376回定例会も閉会し、いよいよ夏本番を迎えました。今夏も暑さが厳しいようです。

角田版「道の駅」の計画ですが、市長は各地区で行われた「まちづくり懇談会」において、敷地面積約2・88ha、総事業費は約11億5千万円(国の補助約4億円、地方債約5・7億円、一般財源約1・8億円)、平成30年度、平成31年度開業予定と説明されました。

今後、議会として「道の駅」について市の財政計画と照らし合わせ、設置するか否かも含め、計画段階から当局と議論してまいります。

角田市議会は、これからも市民の皆様のご意見に耳を傾け、様々な市の課題解決や市民福祉の向上のため、市長と議会が両輪となり前進してまいります。

議会だより編集会議